

令和6年度 学校関係者評価 (学校運営協議会委員)

市貝町立市貝小学校学校運営協議会

○4段階評価

A:期待通りまたは期待以上 B:ほぼ期待通り C:やや期待を下回る D:改善を要する

項目	評価項目	委員評価
1 学校経営・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童、保護者、教師に笑顔届け、共に育つ学校づくり」 (1) 知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、「生きる力」を備えた児童の育成に努めている。 (2) 地域との連携・協働を深め、地域の教育力を生かした特色ある学校づくりを推進している。 (3) 保護者・地域から信頼される教職員を目指している。 	A (5)
2 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。 ・学校は、ICTを活用する等、校務業務を効率化し、働き方改革に取り組んでいる。 ・学校は、児童生徒の発達の段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。 	A (5)
3 教育課程・学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、各学校が教育課程(カリキュラム)の編成、実施、評価、改善を生かした、分かる授業を展開し、資質・能力の育成に努めている。 ・学校は、ICTを有効に活用し、発達段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。 ・学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。 ・学校は、高い教育効果が得られる学校行事を実施している。 	A (5)
4 豊かな心の育成・生徒指導・特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。 ・学校は、教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。 ・学校は、児童生徒一人一人が個の特性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。 	A (3) B (1) C (1)
5 健康・体力の向上・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、体育や体力づくり、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。 ・学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。 ・学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。 	A (5)
6 保護者・地域との連携協力	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。 ・学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。 ・学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。 ・学校は、保護者や地域の方が教育活動を参観できる機会を設けている。 	A (4) B (1)
7 環境整備・施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、安全で美しい学習環境の整備に努めている。 ・学校は安全点検を定期的実施し、教育委員会と連携した施設整備に取り組んでいる。 	A (5)

学校運営協議会委員の意見提言と次年度へ向けた改善策等

- ・学童施設が学校敷地内にできて良かったが、送迎の出入りが不安である。
- ・先生方が経営方針や課題の共通理解を図り、日々充実して学習活動が展開できている。アンケート結果からも、保護者の信頼が厚い様子や児童が安心して楽しく学校生活を送っている様子が分かる。
- ・廊下の壁面の掲示物等、教育環境の充実も日々図られている。
- ・地域の人材を生かした学習活動が工夫・改善して行われている。
- ・ICTの学習指導への活用も一層意欲的に取り組んでおり、充実した研究成果を町内外の先生方に発信できた。今後、ICTリテラシーの育成にも力を入れ、さらにICTを適切に活用できる児童を育成して欲しい。
- ・支援が必要な児童への配慮も、十分図られ、学級経営や児童指導が実践されている。今後も大切にしていってほしい。さらに、いじめや不登校の未然防止にSCや心の相談員、SSW等を効果的に活用してほしい。

- ・ アンケートから、保護者・児童共に、校長先生の朝の声かけに始まり、先生方が優しく親身になって一人一人の児童に接してくださっている様子がよく分かる。
- ・ 運動会するとき、徒競走や障害走で、一人一人に「頑張ったね。」と声をかけている校長先生の姿が印象的だった。また、親子アンケートで、「読書をしている」「元気にあいさつ」「将来の夢や希望」他、子供たち自身がA評価をしているのに対して、親の評価が低かったことを興味深く感じた。自身の子育て中は、心配が先に立ち、様々なことに対して肯定的に捉えて受け止めることができなかつた事への後悔があり、子育てが終わった今だから分かる、子供に近づきすぎている視点を少し離して、俯瞰で見る大切さのようなものを保護者の方に伝えられるような機会があると良いのかなと思った。
- ・ 児童、保護者のそれぞれのアンケートのコメントは、細かい意見まで真摯に取り上げていて、市貝小学校の誠実さを再認識しながら、頭の下がる思いで読ませていただいた。ありがとうございました。（意見の自由度の高さがそのまま、学校の良い雰囲気のあるあられ）（個人的には、かめ池にスッポンは難しいかもしれないけれど、給食のからあげが4個になるといいねと思いながら読みました。）
- ・ 運動会では、教職員と児童が伸び伸びと活動する様子が見られ、一緒に参加することができて良かった。
- ・ 昨年に続きあいさつは、先生方も児童も残念に思う。まず、先生方があいさつできなければ、児童はもっとできないと思う。
- ・ 職員への要望の中で、担任以外の先生のあいさつ、職員もあいさつ運動に心がけるべきとあり、保護者も感じていると思った。
- ・ 毎年行っていた、地域との交流会が行われなかったことが、とても残念だった。
- ・ アンケート結果から、児童、保護者から信頼され、学校生活を楽しんでいるのが分かった。設問7が、保護者、児童のどちらも一番高いパーセントだった。学校で楽しく元気に生活できるのが一番だと思う。
- ・ ICTの授業を見せていただき、子供たちがよく理解できているなと感心した。子供たちにとってとても楽しい授業なのかなと感じた。
- ・ アンケート等の資料から感じたことは、保護者から職員への要望の中に、職員もあいさつ運動に心がけるべきとあった。たしかに先生と子供たちは、満点に近いほどできていると思うが、校外や何かしらの用事でふと来校したときに、ばったり会ったときに知っている顔でも知らない顔をする子供たちもいるので、ちょっと悲しいと感じる。そこは、先生が率先してあいさつしてくれると、子供にも繋がっていくのではと感じた。
- ・ 学校運営についての意見から、図工で版画や下美・・・のところにボランティアがいてくださると書いてあった。今年度は、ICTで多忙だと感じたが、学校と地域との交流（情報交換会）の場がとても少なかったと感じる。もともとのボランティア団体と学校運営協議会との絡みも今後必要かと思う。また、主体性のある活動をとも言われている。現在行っている取組をもっともっと広げていくことができるように私たちも地域も頑張りますので、ご協力よろしくお願ひします。引き続きよろしくお願ひいたします。